

ファイナンシャルプランナーより、
お役立ち情報をお知らせいたします

FP 通信

2024年10月 第49号

発行

ベイヒルズ 税理士 法人

〒221-0052

横浜市神奈川区栄町1-1 KDX横浜ビル6階

TEL:045-450-6701 FAX:045-450-6706

HP: <https://www.bayhills.co.jp>

iDeCo、NISA、変額保険の違いとメリット・デメリット

資産運用の選択肢として「iDeCo」「NISA」「変額保険」の3つがよく比較されます。それぞれの特徴を理解して上手に資産運用を行いましょ。

iDeCo (イデコ・個人型確定拠出年金)

老後資金を効率的に準備するための制度で、毎月自分で掛け金を出し、それを定期預金や投資信託などで運用します。60歳以降にその成果を受け取ることができ、公的年金に上乘せする形で「自分年金」を作る仕組みです。

(1) メリット (節税効果)

掛け金が所得控除の対象となり、運用益も非課税で受け取れます。

(2) デメリット (流動性の制約と手数料がかかる)

60歳までは原則としてお金を引き出すことができません。また、口座開設や維持に手数料が必要で。

(3) iDeCo を優先したい人

所得控除の恩恵を最大限に享受したい、老後資金を計画的に貯めたい人には、iDeCo が向いています。特に、所得が多いほど節税効果が大きくなるため、高所得者にとっては非常に魅力的です。

NISA (少額投資非課税制度)

NISA は、投資による利益が非課税となる制度です。2024年からは「新 NISA」として制度が強化され、生涯にわたって非課税で投資ができるようになりました。「つみたて投資枠」と「成長投資枠」の2つの枠があり、株式や投資信託に幅広く投資できます。



(1) メリット (税制優遇と自由な引き出し)

生涯にわたり非課税で投資ができ、投資額の上限も大幅に拡大されました。また、NISA での投資資産はいつでも引き出せるため、教育資金や住宅資金といったライフイベントにも対応できます。

(2) デメリット (損益通算ができない)

他の特定口座等との利益と損失を相殺することができず、また損失の繰越控除もありません。

(3) NISA を優先したい人

少額から始めたい人や、リスクを抑えつつ長期的に資産を

増やしたい人、自由に引き出しができる資産運用を考えている人には、NISA が適しています。ライフイベントに備えた資金形成をしたい人に特に向いています。

変額保険

変額保険は、生命保険と資産運用が一体となった商品です。保険料の一部を投資信託で運用し、その成果によって死亡保険金や解約返戻金が増減します。運用がうまくいけば、保険金の額が増える可能性がありますが、逆に元本割れするリスクもあります。

(1) メリット (保障付きの資産運用とインフレ対策)

死亡保険金があり、運用次第で資産が増える可能性があります。また、変額保険は、インフレにも対応しやすい商品です。

(2) デメリット (リスクが高い)

運用が失敗すると解約返戻金が減少する可能性があります。また、解約控除が発生するため、途中解約にはコストがかかる点も注意が必要です。

(3) 変額保険を優先したい人

保険による保障を重視しつつ、資産運用も同時に行いたい人や、生命保険料控除を活用して節税したい人におすすめです。

まとめ

iDeCo、NISA、変額保険はそれぞれ異なる目的とメリットがありますので、どの制度を優先すべきかは、個々のニーズやライフステージに応じて異なります。いずれも併用が可能なので、資金に余裕がある場合は、それぞれのメリットを活かし、組み合わせて利用するのも良い方法です。資産運用を始める際には、自分に最も適した方法を選び、計画的に進めていきましょう。

現在と将来のお金のことを考えてみませんか。気になることがございましたら、お気軽にファイナンシャルプランナーまでお問合せ下さい。

連絡先：ベイヒルズ税理士法人 FP 課 児玉
TEL 045-450-6701

